

平成27年 教育委員会第18回定例会 会議録

日 時 平成27年10月27日（火） 午後 2 時40分～午後 3 時20分
場 所 九段小学校 2階会議室

議事日程

第 1 報告

【子ども総務課】

- (1) 平成27年第3回区議会定例会報告
- (2) 教育広報「かけはし」第107号の発行

【学務課】

- (1) 平成28年度入学区立中学校選択状況

【指導課】

- (1) 特別区人事委員会勧告
- (2) 小学校外国語活動等の実施状況調査
- (3) いじめ、不登校、適応指導教室の状況報告（平成27年9月）

第 2 その他

【子ども総務課】

- (1) 教育委員会行事予定表
- (2) 広報千代田（11月5日号）掲載事項

【子ども施設課】

- (1) 九段小学校・幼稚園改築工事に係る工事説明会の開催
- (2) インドネシア防災庁長官による神田一橋中学校の取り組み視察

【子育て推進課】

- (1) 私立認定こども園開設説明会

出席委員（4名）

教育委員長	中川 典子
教育委員長職務代理者	古川 紀子
教育委員	金丸 精孝
教育長	島崎 友四郎

出席職員（10名）

子ども部長	保科 彰吾
教育担当部長	小川 賢太郎
子ども総務課長	村木 久人
副参事（特命担当）	大井 良彦
子ども支援課長	中尾 真理子
子育て推進課長	加藤 伸昭

児童・家庭支援センター所長	恩田 浩行
子ども施設課長	小池 正敏
学務課長	伊藤 司
指導課長	杉浦 伸一

欠席委員（0名）

欠席職員（0名）

書記（2名）

総務係長	久保 俊一
総務係員	田口 有美子

中川委員長	開会に先立ち、傍聴者から傍聴申請があった場合は、傍聴を許可することとしますので、ご了承ください。 ただいまから平成27年教育委員会第18回定例会を開催します。 本日、欠席はありません。 今回の署名委員は古川委員にお願いいたします。
古川委員	はい。承知しました。

◎日程第1 報告

子ども総務課

- (1) 平成27年第3回区議会定例会報告
- (2) 教育広報「かけはし」第107号の発行

学務課

- (1) 平成28年度入学区立中学校選択状況

指導課

- (1) 特別区人事委員会勧告
- (2) 小学校外国語活動等の実施状況調査
- (3) いじめ、不登校、適応指導教室の状況報告（平成27年9月）

中川委員長	それでは、日程第1、報告に入ります。 報告は全部で6件あります。 初めに、子ども総務課長より報告をお願いいたします。
子ども総務課長	それでは、子ども総務課から、平成27年第3回区議会定例会についてご報告いたします。 本年、第3回区議会定例会におきます代表質問、一般質問の概要につきましては、前回、10月13日の定例会においてご説明させていただきました。本日は、第3回区議会定例会におけるそのほかの教育、子育て関連の審議の状

況等につきまして、簡単にご報告させていただきます。

第3回区議会定例会は10月21日で閉会いたしました。教育、子育て関連の議案につきましては、九段小学校・幼稚園の改築関係の契約関連議案及び認定こども園の開設に要する経費の補助、国有地の一時借用による子どもの遊び場等の整備、代替園庭利用の公園・児童遊園の改修、麹町保育園園舎整備に係る債務負担行為の補正、これらに係ります補正予算案がいずれも可決されたところでございます。

第3回定例会におきましては、決算審議がございました。決算審議につきましては、10月7日、8日の予算・決算特別委員会分科会及び15日、16日の予算・決算特別委員会総括におきまして審議がなされました。教育、子育て関係の事業につきましてもさまざまな議論がなされましたが、特に、今回議論になりましたのが、お茶の水小学校・幼稚園の改築の関係でございます。最終的には、本日、資料としておつけしているものをご覧いただきたいのですが、平成26年度の決算認定に当たりまして、お茶の水小学校・幼稚園の整備に関し、こちら、資料の裏面のほうをご覧いただきたいと思っております。こちらに記載されております内容の附帯決議がなされることとなりました。こちらをご覧になっておわかりのように、附帯決議の内容といたしましては、お茶の水小学校・幼稚園の整備に当たっては、議会とも協議の上、可及的速やかに進めていくこと、この問題に対応するための全庁的な組織を構築することが求められているところでございます。

この決議を受けまして、教育委員会事務局では、教育長を会長とするお茶の水小学校・幼稚園改築に関する庁内連絡調整会議を環境まちづくり部や政策経営部と連携して設置することといたしました。

また、こちらの資料の2枚目にありますが、お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会の設置について議案が提示されまして、可決されましたので、今後議会におきましては、この問題はこの特別委員会において議論されていくこととなります。

ご説明につきましては以上でございます。

中川委員長

この件に関しまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
よろしいですか。

(なし)

中川委員長
子ども総務課長

特にないようですので、次の説明をお願いします。

それでは、子ども総務課から2件目の報告事項、教育広報「かけはし」107号の発行についてご説明いたします。

本日は、資料を1枚おつけしてございます。かけはしにつきましては、年に3回発行しておりますが、12月4日に発行を予定しております「かけはし」の内容につきまして、本日は皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。報告事項とさせていただきます。

こちらの資料にございますような内容を12月4日号では予定しているところでございます。一応ページの割りつけをつけておりますが、これはあくま

でも目安ということでつけてございますので、必ずしもこういった分量ということではございません。内容によりまして増減はいたします。

また、今回これはあくまでも事務局の案としてこういったものを掲載したかどうかということでお出ししているものでございますので、委員の皆様方から、これは掲載する必要はないとか、あるいはこのほかに、こういったものを載せたほうが良いというご意見がありましたら、お伺いさせていただきたいと思います。

ご説明は以上です。

中川委員長

この件に関しまして、ご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。

教育長。

教 育 長

教育広報かけはしは、教育委員会から、保護者、区民の方への大切な情報提供の手段ですので、ぜひ教育委員の皆さんのご意見を反映させた形での編集をしていきたいという思いから、今日、事務局案を提案させていただいております。

年3回の発行ということで、この号に限らないのですが、私も、これまでの教育委員会での議論ですとか、学校長への説明ですとか、あるいは他の自治体の広報紙等を目にする中で、こんなテーマを載せていったらどうかという考えがあります。

1つは、教育委員会の議論でも、理科教育が小学校でも中学校でも課題というふうに思っておりまして、以前も小学校で科学教育センター事業というのをやっているの、その紹介をしてはどうかというご意見をいただいたことがあります。そうした事業の紹介というのがあってもいいのではと思っています。

それから、全国学力調査の結果については、以前、当教育委員会でもいろいろご意見を頂戴して、千代田区の場合には学校ごとの成績の公表はしないというご判断をいただきましたが、千代田区全体の傾向とか課題については、昨年度から広報紙でも保護者の方にお伝えするようにしています。いろいろやり方を工夫する中で、区全体の学力調査結果を踏まえた課題等については載せていったらよいと考えています。

さらに、学力だけではなくて、体力調査等もやっていますので、その辺の状況も工夫して掲載していったらいいのではないかと考えています。

また、ほかの自治体の広報紙等を見ると、学校の研究発表会や事業の事前の案内を載せているところもあります。千代田区も、これから年末、年度末にかけて、いろんな学校で研究発表会がありますから、そういった案内等も載せていいのではと思っています。

さらに、各学校がいろいろな取り組みをしていますけれども、例えば東京オリンピック・パラリンピックに向けた推進校の活動なども紹介していったらどうかと思います。

特別支援教育については既にご案内していますけれども、その状況とかもまた、お伝えしていくことが必要と考えています。

中川委員長

以上です。

これについていかがでしょう。

まず、島崎教育長がおっしゃったことにつきまして、何かお感じになったことがありましたら。

よろしいですか。

金丸委員

先ほど教育長がおっしゃった理科教育の紹介ですか、とても大切なことだと思うんですね。できれば、1ページ目は、夢に向かっている内容にしたいなという思いがあって、例えば、「こういうことをやると子どもたちはこんなふうに伸びるんですよ。」というようなものが載せられると、すごくイメージがいいのではないかと考えています。そういう意味では、教育長がおっしゃったことがうまく載るといいなと思います。

今、千代田区でどうなっているのかわかりませんが、私が小学校4年のときに、中野区の小学校にいたのですけれども、中野区全体の小学校から二、三人ずつ集めて、理科教室というのをやっていました。多分千代田区でも今やっているといると思うのですけれども。そのときには、それこそピンポイントで、「おまえ、行け。」という形で、一般には公開されていなかったんですね。多分千代田区も、ある意味で、特定の人を選ぶ可能性があるなどは思うのですけれども、行きたい人が行けるような、千代田区の人数を考えたときに、こういうことをやるとこんなことができ、こんなことに伸びていきますよと。希望者の人たちはここに応募してくださいというようなことが載せられると、さらに先への夢につながりそうな気がいたします。

中川委員長

今、表紙は子どもの遊び場ということになっているのですか。

子ども総務課長

まだ未定です。暫定で。

中川委員長

まだ未定で、大丈夫ですね。わかりました。

一応そういうことなどはもう少し私たちも考えて、具体的にできればいいかなと思いますけど。

今、金丸委員がおっしゃったんですけど、各学校の事前の研究発表会のこととか、学校がどんな取り組みをしているかというようなことを、もう少し身近にする記事づくりというのはしてもいいのではないかと思います。

例えば、今度、学校保健会がありますけど、各学校にPTAから割り当てられた人だけが来ているようですが、事前の公表ができれば、講演会なんかもあるわけですから、ぜひ来てくださいと載せてもいいのではないかと感じました。

そういう意味で、今、教育長がおっしゃったようなことを、今ここで全部というのは無理ですけれども、もう少し反映できるといいかなと思います。

古川さん。

古川委員

まず、今、学校保健会のお話が出たので、学校保健会は年何回かあり、「かけはし」に載るんですけど、いつも委員長の挨拶が載ってとか、同じような感じなので、子どもが学校からいただいてきて開いたときに、あ、いつもの感じという印象があります。ですので、学校保健会についてのお知

らせをするのはとても大切だとは思いますが、掲載の仕方を変えていったほうがよいのではないかなと思います。

講演会もありますから、こんな講演会がありましたとかいう記載はたしかあったと思うのですが、例えば講演の内容を凝縮したものを少しご紹介するとか、掲載の仕方を変えられたほうがいいのではないかなと思います。

あと、学校の取り組みや先生方の取り組みなども紹介されていくといいなといつも思っていて、研究発表会もそうですし、あと、何回か前のかけはしに、お茶の水小の先生が載っていましたが、例えば指導教諭の先生が、今は小・中学校をあわせて3人ぐらいでしょうか、指導教諭の先生方の紹介とか、学校での取り組みをもっと具体的にご紹介されてもいいのではないかなと思いました。

中川委員長　　そういうことも含めて、もし必要なら、私たちももう少し編集会議ではないですが、掲載事項を出していきたいと思います。

子ども総務課長　委員の皆様からのご意見を踏まえて、もう一度案を考えまして、また、教育委員会の定例会の場でできるかどうかわかりませんが、委員の皆様にご紹介しながら編集できるようにしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

中川委員長　　わかりました。
ということで、よろしいですか。

(了 承)

中川委員長　　では、次に行きたいと思います。
学務課長から報告をお願いいたします。

学務課長　　区立中学校の学校選択の申請状況、中間報告ですが、お知らせをさせていただきたいと思います。

平成28年度入学の学校選択ということで、425名の方に学校選択の申請書をお送りしたところです。その10月22日時点で、こちらの表に出ております麹町中学校は241名、神田一橋中学校が97名という数字で返答が来ております。区立中学校の就学意思なしあるいは未選択の方が61名、未回答の方が26名という状況に今なっているところでございます。

また、今後、転出・転入等によって人数に変動等はあろうかと思えます。

この学校選択の申請状況ですけれども、ホームページに掲載をしていく予定にしております。

報告は以上でございます。

中川委員長　　これに関しまして、ご意見、ご質問などありましたらお願いいたします。

金丸委員　　九段中等教育学校への進学希望というのはアンケートには載せないのですか。

学務課長　　九段中等教育学校への進学希望のアンケートを独自にはしていません。申請の中でできています。

古川委員　　未回答の方に何か連絡をするような事はあるのでしょうか。

学務課長　　未回答の方には、再度、申請を、選択してくださいという通知をもう一回

出します。

古川委員 わかりました。

中川委員長 61名の中に、未回答も含めてですけども、例えば私立とか国公立に初めから希望している人とか、そういう人は入っているのでしょうか。

学務課長 はい。私は私立に行くので、区立の選択はしませんということでご回答をいただいている方は……

中川委員長 それは61の中に入っているんですね。

学務課長 はい。

中川委員長 わかりました。

今の状況はこういったことで。

金丸委員 1点だけ。この425名というのは、今の千代田区立小学校の6年生全員ということでしょうか。

学務課長 いえ、いわゆる区域外で来ている方には出していないので、区民の小学校6年生。あと、区民で、私立の小学校に行っている子にも出しています。

中川委員長 わかりました。ありがとうございました。

よろしいですか。

(な し)

中川委員長 では、次に行きたいと思います。

指導課長より報告をお願いいたします。

指導課長 平成27年特別区人事委員会勧告の概要についてご報告申し上げます。

特別区人事委員会より、平成27年10月13日付で職員の給与等について、次のとおり報告及び勧告が行われました。

教育関係では、幼稚園教諭がこれに該当いたします。

内容につきましては、月例給、公民較差を解消するために、給料表及び扶養手当を改正し、原則全ての級及び号級について、金額で1,413円、率で0.35%、給与月額を引き上げが行われました。また、管理職及び係長職の職責の高まり等を考慮し、4級以上の級においては引き上げを強め、6級以上の級においてはさらに強めに引き上げを行った状況になっております。

扶養手当につきましては、手当の月額を500円引き上げまして、6,000円に改定いたしました。

期末手当・勤勉手当等の特別給につきましては、民間における特別給の支給状況を勘案して、年間の支給月額を0.1月引き上げ、つまり現行が4.2月でございますので、そこから4.3月となります。

実施時期に関しましては、給料表及び扶養手当につきましては、平成27年4月1日に遡及して実施します。特別給は改正条例の公布日から実施ということになります。

その他、今後の給与制度の方向性、考え方等は裏面に示されたとおりでございます。

報告は以上でございます。

中川委員長 この件に関しまして、何かご質問、ご意見がありましたら。

(な し)

中川委員長
指導課長

次に、小学校外国語活動等の実施状況調査について。

平成27年度小学校外国語活動等の実施状況についてご報告申し上げます。

調査はアンケート形式で、区内8小学校の校長8名と、小学校1年生から6年生の外国語活動に関係する教員98名を対象に、複数回答方式で調査を行いました。

まず、管理職でございますが、ALTの果たす役割につきましては、全校長がコミュニケーションへの意欲向上、そして7名の校長が教材作成に有効と回答をしております。ALT配置上の一番の課題は、学級担任とのコミュニケーションのための打ち合わせ等の時間確保であることが示されています。学校は、授業改善に向けて指導法の工夫や教材の開発など、さまざまな研修を独自に行っていることがここで示されております。管理職は、英語の教科化に不安を持っており、特に教員の指導力の向上、指導方法、評価について支援が必要と感じております。

裏面に参りまして、教員につきましては、外国語活動等の授業をするに当たり大切にしていることは、多くの教員が聞くことや話すことに親しませる機会の確保や積極的にコミュニケーションを行う態度の育成を挙げております。聞くこと、話すことの技能の習得や読む、書く、話す、聞くの4技能の充実は余り重視していないという結果が出ております。

千代田区の小学校教員の約84%、98名中の82名に当たるのですが、外国語活動の教科化にやはり不安を感じている。不安の多くは、授業づくり、教材づくり、指導方法、授業における英語運用、評価評定にあると答えています。

新学習指導要領では、今後小学校3、4年の必修化、5、6年の教科化となってくるため、千代田区の小学校の教員約73%は、それらに適した研修が必要だと答えており、その内容は、授業づくり・指導方法・評価評定について、教材づくり、授業における英語運用などの内容について研修を望んでいるという結果が出ております。

今回の調査を踏まえまして、指導課では、外国語に関する学力のみならず、オリンピック・パラリンピック教育や国際理解教育の充実を含め、小学校外国語活動に関する充実を図っていきたいと考えております。

報告は以上です。

中川委員長

この件に関しまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

はい、どうぞ。

金丸委員

学習指導要領を読めばわかるのですが、小学校での外国語教育をする目的が何で、どういう目的でやるかによって、多分評定の仕方というのは大幅に変わってくるんだと思うんです。簡単で結構ですけども、何が目的だということになっているのでしょうか。

指導課長

この調査にも出ておりますように、中学校になってからの語学力、英語力ということよりも、やはり英語になれ親しむ中で、国際理解教育、またはコ

コミュニケーション能力などを、話す、聞く外国語活動を通して、高めるというところに一番重点を置いております。また、中学校に行ってから英語嫌いなどの拒否反応などを起こさないような配慮が今後十分必要になってくると思います。そのために、小学校教員の指導の仕方については十分配慮しないといけないと考えています。調査結果にも出ておりますように、今後の改定に基づいて、教員はどのように指導していったらいいのか、それに十分対応していけるかという不安がこの調査でも明らかになっている状況でございます。

金丸委員 それに関連して、そうすると、評定については、いわゆる5段階みたいな形ではなくて、3段階ぐらいにして、かつ一番下の段階は1人もつけなくてもいいというような、そういうような配慮をされるということになるのでしょうか。

指導課長 そのこのところは私もしっかり把握しておりませんので、また調査をしまして、今どういう評価評定の方向性が出されているかということをご報告申し上げたいと思います。

金丸委員 例えば評価が低くなったことによって嫌いになるというパターンが想像できるものですから、その辺を上手にやっていただけるとありがたいなと思います。

中川委員長 よろしいですか。今までもALTを大分やってきましたね。それに対して、今までやっていらした先生方が、母数98とありますけど、98というのは経験者だと思うのですが、子どもがどのように取り組んだという調査はしていないんですね。

指導課長 はい、現在のところしておりません。

中川委員長 ただ不安とか、何をしたらいいかだけ聞いても、反省点みたいなものがないと、現実的ではないかなと思うのですけれども。

指導課長 はい。今後子どもたちの今の満足度、理解度というものを調査してまいりたいと思います。

教育長 調査結果の一番下の丸のところ、この調査結果を踏まえた今後の改善なり、充実の方向性。指導課でこれを踏まえた具体的な方針を考えてほしいと思います。

指導課長 はい。この調査からも考えられるように、やはり研修ですね、特にALTは、あくまでサポートという形ですので、やはり担任ですね。授業を行う担任がうまくコーディネートしながらALTを活用していくというところで、事前にしっかりと打ち合わせや計画、調整が必要になってきます。その時間がないということを、全ての学校長が懸念事項として挙げておりますので、そこをどう捻出しながら指導課がしっかりと研修等のプログラムを組んでいくかというところは、今後大きな課題となってくると思います。

中川委員長 よろしいですか。

(なし)

中川委員長
指導課長

では、次へ行きたいと思います。
いじめ、不登校、適応指導教室の状況報告をお願いいたします。
9月の報告をさせていただきます。

まず、いじめにつきましては、9月のいじめ報告件数は11件でございます。先月の9件よりも2件増になりましたが、解決も2件ございました。これで、今年度の累計は15件となります。うち解決は4件、転出による解消が2件、一定の解決は図られましたが、継続指導中のものが9件でございます。新たな2件のうち1件は、いじめ相談電話がきっかけとなって、いじめの発見、解決に至った事例でございます。増えたのは小学校2年の女兒、これがいじめ相談電話での発見でございます。あとは、小学校6年女兒で、現在も継続指導中でございます。

いじめ相談電話につきましては、昨年度は年間で2件ございましたが、今年度は今日現在で20件の電話があり、有効に活用されるようになってきております。

次に、不登校について報告いたします。

9月の不登校数は35名で、前月に比べまして8名増えました。小学校4名、中・中等学校が4名でございます。小学校の4年、6年生は兄弟でございます。不登校理由は、家庭の生活環境の急激な変化が主な理由でございます。家庭支援センターからの支援を受けながら、今対応中でございます。もう一人の小学校6年の男児は、学業不振による不登校ということで報告が上がっていますが、内実はいじめ以外の人間関係のようでございます。今月になりまして、10月は1日も休まずこの生徒は登校してきていますので、来月の報告では解消できると考えております。もう一人の6年の女兒は、適応指導教室にもかかわっているのです、そちらで報告いたします。中学2年生男子生徒は、いじめではない友人関係の問題、学業不振、不安等情緒的混乱など複合的な要因で不登校状態でございます。ほかの新たな不登校者数に加えた中・中等教育学校の3名は、いずれも不安等情緒的混乱でございます。いずれも学校側が家庭訪問や電話対応などで支援を続けております。

今月の欠席が4日以内であり、学校復帰と認められたのは8名おります。うち1名の小学校6年男児は、区内の転学により不登校状態が解消されました。中学校3年生のうち2名は、白鳥教室を利用することなどにより、不登校状態の解消が見られています。後期課程6年生の男子生徒につきましては、今月欠席日数が1日であり、累計で30日を超えたために新規不登校者数に入りましたが、月4日以内の欠席なので、学校復帰にもカウントされてございます。

最後に、適応指導教室の利用者数でございます。

新たな正規通級はありませんでした。体験通級では、2名の新規通級がありました。小学校6年生女兒が1名、中学生1年男子生徒が1名でございます。小学校6年女兒は、昨年度からも情緒不安定による不登校、登校渋りが続いておりました。担任も毎日電話をかけておりましたが、改善されず、少

しでも外に出られればということで白鳥教室への通級につなげております。中学1年生男子生徒は、ケース会議も開きまして、学校が関係諸機関と連携しながら対応をしております。ギフトドという一部の能力が飛び抜けてすぐれています。ある一面の能力がアンバランスであるという特徴がございます。コミュニケーションに課題があり、友達や先生と折り合いがうまくつけられずに不登校状態のため、白鳥教室への通級手続に入りました。

報告は以上でございます。

中川委員長

これに関しまして、何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。よろしいですか。

(な し)

◎日程第2 その他

子ども総務課

(1) 教育委員会行事予定表

(2) 広報千代田(11月5日号)掲載事項

子ども施設課

(1) 九段小学校・幼稚園改築工事に係る工事説明会の開催

(2) インドネシア防災庁長官による神田一橋中学校の取り組み視察

子育て推進課

(1) 私立認定こども園開設説明会

中川委員長
子ども総務課長

それでは、特にないようですので、日程第2、その他に入ります。子ども総務課からその他事項といたしまして、2件でございます。1件は教育委員会行事予定表、それから、2件目が広報千代田(11月5日号)の掲載事項です。いずれも本日おつけしております資料のとおりでございます。説明のほうは省略させていただきます。以上でございます。

中川委員長

これについてのご意見、ご質問はよろしいですね。

(な し)

中川委員長
子ども施設課長

では、次に、子ども施設課長より報告をお願いいたします。私のほうから2件ご報告がございます。九段小学校・幼稚園の改築工事の契約議案が可決になりました。それに伴いまして、近隣の皆様宛てに工事説明会の開催のお知らせということでご連絡でございます。

11月5日18時30分から、九段上集会室の洋室A・Bです。施工業者は、建築がナカノフドー建設と久保工の建設共同企業体、空調設備がオーク・アイビー建設共同企業体、給排水設備が日管・佐藤建設共同企業体、電気設備工事が協立・大東建設共同企業体という形になっております。

引き続き、インドネシア防災庁長官の日本の防災の取り組みの視察で来日という情報提供でございます。

JICAの招聘で、11月8日から11月15日までの間、日本における防災の取り組みを学ぶため来日という形になっております。JICAの研修という取り扱いだと聞いております。

千代田区に関しましては、下段のほうですが、11月12日、神田一橋中学校を訪問するという形になっています。学校施設の耐震化・老朽化対策についての見学ということになっておりますので、情報提供でございます。

以上でございます。

中川委員長 この件に関しては何かご質問、ご意見ありますか。

(なし)

中川委員長 ないようですので、ほかに事務局からは何かありますでしょうか。

子育て推進課長 1点あります。急遽、日程が決まりましたので、この場をかりてご報告させていただきますと思います。

先ほど第3回区議会定例会で補正予算をご議決賜りました私立認定こども園の開設説明会が、11月6日の金曜日、7日の土曜日、その2日で、金曜日が18時から20時、土曜日が2回行いまして、午前10時から12時、それと午後が14時から16時ということで、グローバルキッズ飯田橋園、今のウエストのほうですね、あちらの2階の会議室で行うということでございますので、情報提供ということでご報告させていただきたいと思います。

中川委員長 ほかはよろしいですか。

(なし)

中川委員長 それでは、教育委員のほうからは何かありますか。よろしいですか。

(なし)

中川委員長 それでは、特にないようですので、以上をもって本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。